



# 桜ヶ丘銅鐸・銅戈群



Q1. 次の文章の ( ) をうめてみよう。

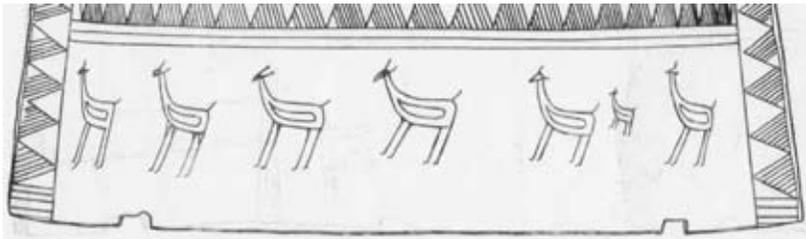
銅鐸とは ( 弥生 ) 時代につくられた青銅製の「かね」である。

(1964 (昭和39)) 年12月10日、神戸市 ( 灘 ) 区桜ヶ丘町の通称「<sup>かみか</sup>神岡」とよばれていた六甲山中から銅鐸 ( 14 ) 個と銅戈 ( 7 ) 本が発見された。一括して国宝に指定される。

Q2. 銅鐸はどんなことに使われていたものと考えられるだろう？  
当時の時代背景とともに、あなたの考えをまとめてみよう。

弥生時代には大陸から稲作や金属（鉄・青銅）が伝わってきたので、豊作を祈ったり、祝ったりするためのマツリの道具として使われていたといわれているんだ。

Q3. 4号銅鐸にはシカが表されている。当時の人にとってシカはどんな存在だったと考えられるだろう？



シカは稲作・農耕の神様のようなものとされているよ。毎年生え変わるシカの角から、稲の芽が生えて実った後に刈り取られる稲作のサイクルを、シカに重ねていたと考えられているからなんだね。

## 年 組 番

Q4. 5号銅鐸には何が表されているかな？

カエル・ヘビ 棒を持つ人	カマキリ カエル・クモ？	I字型道具を 持つ人・魚	トンボ イモリ
三角頭(△)と 丸頭(○)の人	弓を持ちシカの 角をつかむ人	魚・サギ スッポン	脱穀作業を する人

Q5. 表されている人物のかたちにはちがいがあることが分かる。  
何がどうちがうのか。また、そのちがいは何を表しているのか  
考えてみよう。

Q4にあるように、頭のかたちにちがいがあ (△と○) ことがわかる。これは、おそらく性別のちがいをあらわしているのでは…と、考えられているんだよ。

Q6. 桜ヶ丘銅鐸・銅戈群が国宝に指定されたのはなぜだろう？  
あなたの考えを書いてみよう。

14個の銅鐸がまとまって埋納されていただけでなく、7本の銅戈とともに発見された。また、14個の銅鐸のうちに、4個の絵画銅鐸(1号・2号・4号・5号)が含まれている。以上のような特徴と美術工芸的な高い評価によって、1970(昭和45)年に国宝に指定されたんだ。